

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 2*－①、図 3*）

乗鞍岳付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 2*－②③④）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況
（1 月 24 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 2 月分）は平成 25 年 3 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

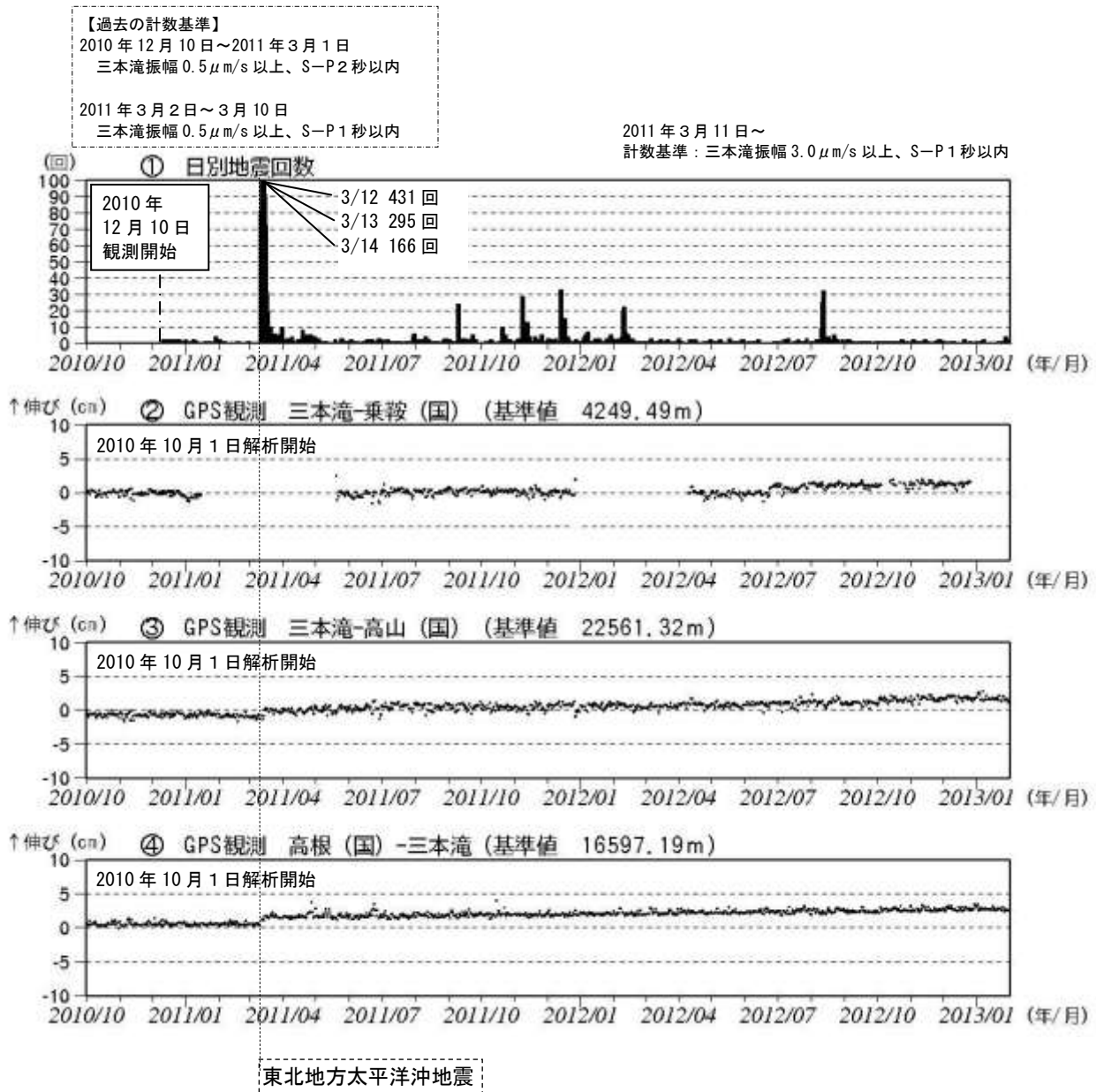


図 2※ 乗鞍岳 火山活動経過図

①：乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010年12月10日～2013年1月31日)

②③④：GPS 連続観測による基線長変化 (2010年10月1日～2013年1月31日)

(国)：国土地理院

③④の基線には、東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日) に伴うステップ状の変化がみられます。

②～④は図 4 の GPS 基線②～④に対応しています。

②グラフの空白部分は欠測を示しています。

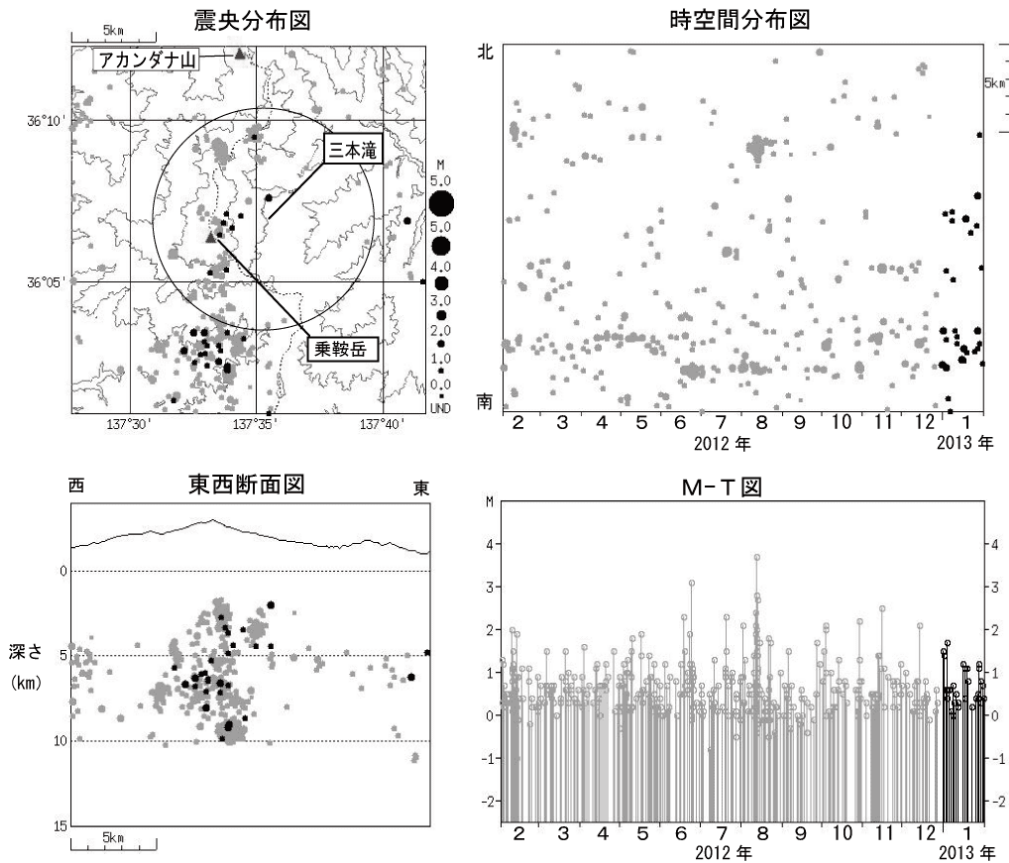


図 3※ 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2012年2月～2013年1月)
 ● : 2012年2月1日～12月31日 ● : 2013年1月1日～1月31日
 震央分布図中の円は図2の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲。
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

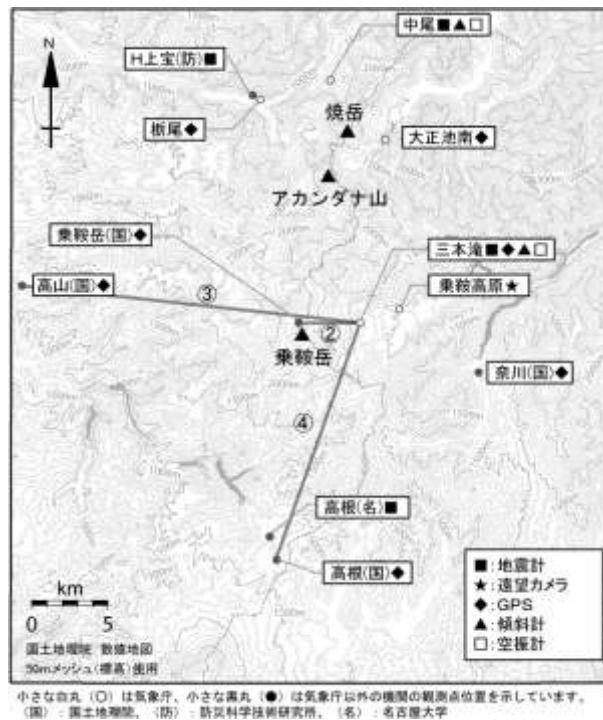


図 4 乗鞍岳 観測点配置
 GPS 基線②～④は図 2※の②～④に対応しています。